

白鳥

～夢に向かって、気づき・考え・行動する 児童の育成～

令和6年 1月24日

文責 富永 和重

※※ 寒い！ 冷たい！ でも遊びたいっ！ ※※



1月24日(水)の朝、思っていたより雪が積もりましたね。子供たちは大喜び。登校するや否や、すぐに外に出て、雪だるま作りや雪合戦を始めました。

冷たい雪に頬や手を真っ赤にさせながらも、めったに降らない雪を満喫していました。

それぞれの担任は、雪合戦の標的にされていました・・・(笑)。

子供たちの安全な登校にご協力いただきありがとうございました。

目標に向かって 挑み続ける

スポーツチャレンジ、「3分間大縄跳び」への挑戦が終わりました。挑戦最終日の1月19日(金)は、本当にどの学年も気迫に満ちていました。

その中で、単に記録を伸ばすのではなく、明確な目標をもち、挑み続けることの大切さを改めて感じました。

ある学年が、「〇回をこえる」という具体的な目標を立てていました。目標は時に大きな壁となり、思い通りにいかない焦りや腹立たしさが子供たちを襲います。それでも、声をかけ合い、仲間を信じて目標に挑み続けている姿がありました。

もし、明確な目標がなかったら、ある程度の記録に満足してやめていたでしょう。

もし、目標達成への具体的なプロセスが見い出せなければ、挑み続けることはなかったでしょう。

明確な目標をもたせ、目標に挑み続けることができるように、周りの大人が励まし、導き、子供たちの力を引き出すことが、子供たちを大きく成長させると感じました。

今年、目標をこえることができた学年の子供たちの中には、仲間と共に涙を流している姿がありました。また、喜びを職員室の他の先生に報告しに来ている姿もありました。

目標は、必ずしも達成できない場合があります。しかし、目標に向かい挑み続けることが大切です。

子供たちが目標に挑み続けることができるように支えていくのが、私たち大人の役目だと考えます。



ご協力ありがとうございました 能登半島地震募金

1月15日(月)に委員会活動がありました。

ボランティア・美化委員会の児童が、「能登半島地震で被災された方々に、自分たちにできることは何か」と考え、児童の発案で募金活動が始まりました。

全校児童に呼びかけ、可能な範囲で各ご家庭に協力をお願いするというものです。



もちろん、たくさんの募金が集まるとありがたいのですが、それよりも大切なのは、そういう気持ちをもつことだと思います。今回、子供たちの発案というところが素晴らしいです。「白鳥蘆花」を校訓とする本校の児童として、今何をすべきか「気づき」「考え」「行動する」ことができたことを大変嬉しく思います。

募金にご協力いただいた保護者の皆様、本当にありがとうございました。

寄せられた募金は、子供たちの気持ちと共に、大切に、確実に現地に届けます。